

# 居宅介護支援事業者の指定権限が町に = 介護保険料基準月額5100円に =

## 3月定例会

第1回定例会が、3月1日から20日まで、20日間の会期で開かれました。総額33.2億円となる平成30年度当初予算のほか、平成29年度各会計補正予算、新規条例や条例改正等の議案について審議しました。また、一般質問では、9名が10項目について理事者の考えをいただきました。

平成30年度一般会計ほか5つの特別会計、上下水道会計の予算案と、予算に関連する議案6件を、定例会初日に設置した予算審査特別委員会(大野晴美委員長、坂本夏樹副委員長)に付託した。

予算審査特別委員会では5日間にわたり審査を行い、定例会最終日に原案可決とする委員長報告があった。

介護保険特別会計予算と関連議案に対して反対及び賛成の討論があり、起立採決の結果、賛成多数で原案どおり可決した。また、30年度予算と関連議案に対する賛成討論があり、原案ど

おり可決した。(討論の内容は10ページをご覧ください。)

定例会初日に民生常任委員会(大浦正志委員長)に付託された、「音更町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準に関する条例案」は、定例会最終日

## 決まった主な内容

### 町で条例を制定 指定居宅介護支援

指定居宅介護支援事業者の指定等に係る事務及び権限が都道府県から市町村に移譲されるため、新たに条

に原案可決とする委員長報告があり、原案どおり可決した。

このほか、平成29年度一般会計及び特別会計補正予

算や部設置条例等の一部改正、町道の路線認定など、全ての議案を原案どおり可決した。

### 介護保険料を改定 基準月額250円増

例を制定した。指定に係る申請者の資格として暴力団を排除する規定や、国の基準で2年となっている記録の保存年限を5年とする独自規定も定めた。

平成30年度から32年度までの介護保険料率を改定する条例案を可決した。

勤続年数10年以上の介護



寒さに負けず雪も溶かすぞ

第1回定例会初日の3月1日、小野町長から町政執行方針、宮原教育長から教育行政執行方針について説明がありました。

## 町政執行方針

音更町は発展途上の町であり、更なる飛躍に向けて、社会資本や生活基盤の整備が必要である一方、公共施設の再整備に多くの財源を要するとともに、社会保障関係費の増嵩など財政的に厳しい状況が続く。多くの課題と町民要望に 대응するため、町民の皆さんの知恵とご協力をいただきながら、持続可能なまちづくりを進める。地方における人口減少と少子高齢化の同時進行は、様々な経済活動に影響を及ぼし、本町においても子育て環境の充実や雇用の場の確保などの施策が、これまで以上に重要になっている。将来を確実に見通すことは厳しい状況だが、町民の皆さんとともに支え合い、ともに汗を流し、「住んで良かった、これからも住み続けたい」と実感し、移り住んでみたくなるまちを創っていく。



## 教育行政執行方針

音更町教育大綱に掲げる「心豊かな人を育むまち」に基づく、「子どもの教育」と「生涯学習」の2本の柱により教育行政を推進している中で、質の高い教育は一層その役割が重要となっている。



将来にわたる本町の持続、発展を目指し、多様に変化していく教育環境や生涯学習環境に対応するためにも、町長が主宰する総合教育会議などを通じて町と連携し、教育行政の継続性と安定性の確保を図るとともに、本町の教育資源を有効に活用しながら、教育行政の充実、発展に向けて全力を尽くす。

### 道の駅の運営調査 経済建設委を派遣

道の駅の施設整備及び管理運営等について調査するため、経済建設常任委員の派遣を決定した。5月14日から16日まで、黒松内町、七飯町、当別町、千歳市を視察する。

### 教育長の任命に同意

福祉士の処遇改善を含めるとともに、被保険者の負担も考慮した中で、基準月額を現在の4850円から250円増額の5100円と定めた。

3月31日に任期満了となる教育委員会教育長について、次の方の任命に同意した。

◎宮原達史さん（再任）  
木野西通12丁目9番地

### 第1回臨時会

### 除雪費1億円を追加

第1回臨時会が2月5日に開かれ、除雪費1億円を追加する一般会計補正予算を可決した。

## 主な一般会計補正予算 (千円単位以下切り捨て)

・除雪費(道路橋梁管理費)	8,000万円
・施設型給付・地域型保育給付費	4,331万円
・保育園運営委託料	3,513万円
・施設燃料費(学校管理費)	599万円

## 議会にひびく

### スポーツ楽しめる 機会を

早川 靖志  
(緑陽台仲区東)

小学生の子を持つ親です。子どもがスポーツ少年団に加入していませんが、指導者不足で困っています。現在指導いただいている学校の先生が転勤された時、少年団活動ができるか心配です。先

生方も働き方改革で今後は難しい時代になると感じています。

少子化で指導者確保が難しい中、町や地域で指導者を確保し、子ども達にスポーツ指導している町があるとニュースで見えてみると、指導者と施設が不足しています。

屋内施設が増え、子どもも大人もスポーツを楽しめる機会が増えることを願います。